

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo.180 2007年4月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

07 平和の会総会のお知らせ

と き 5月13日(日) 13:30

ところ 四中地区公民館

「30年代の土浦の平和運動」小笠原 徹 さんのお話と

土浦平和の会12年間のアルバム紹介

を予定しています

「憲法九条を守ろう」団地宣伝チラシ配り

茨城県平和委員会は県内全自治体で地域、駅頭チラシ宣伝をおこないました。土浦では今回は神立地域のグリーンヒル、ウッドパーク、西山団地と乙戸南団地、烏山団地の5箇所の団地でチラシ配りの宣伝をおこないました。今後は地域を変えながら順次宣伝をする予定です。

米軍機くるな茨城実行委員会は「茨城の空に米軍機はいりません」ニュースNo.3を全県各地で新聞折込をおこないました。

2007 憲法記念日市民のつどい

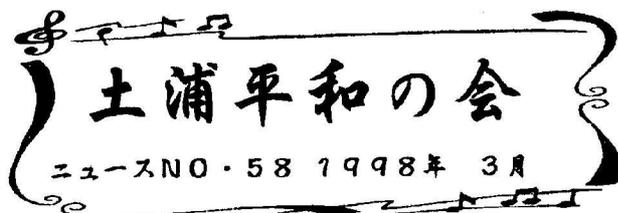
と き 5月3日(木) 午後

ところ ワークヒル(木田余東台)

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

よく墮ちるV22オスプレイが

茨城の空にも飛来する日が来る・



発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122

海上基地はV22の出撃基地

—偽りの移転計画に数千億円の血税を負担する日本—

米会計検査院の議会への報告によると、「沖縄名護沖に建設が計画されている海上基地は垂直離着陸可能な新型輸送機V22オスプレイの配備を前提に計画立案され、日本政府が3千億円から6千億円の設計・建設費用を負担することになっている。さらにその維持費の年間2億ドル(250億円)の負担を日本政府に要求した。」また、海上基地は「修理・整備施設や格納庫、給油施設、8百台収容の駐車場、1、400人の兵員に食事を提供する施設などを備えたものになる。耐用年数は40年以上。」としています。

日本政府が普天間基地の“代替え”として「基地の整理・縮小につながる」として建設を進めようとしているのと食い違いが明らかになりました。

V22オスプレイはCH46輸送ヘリの代替え機として2001年実践配備を計画しているもので、CH46の2倍の巡航速度、三倍の積載能力、5倍から10倍の航続距離を持ち、最大3、892Km飛行できます。これで台湾(750Km)、朝鮮半島(1、500Km)まで自力展開を可能にし、21世紀の長期間にわたって米海兵隊の居座りを保障することになります。

この記事は9年前の平和の会ニュースです。いま名護に建設が予定されている米軍基地にV22オスプレイを配備する計画が再浮上しています。在日米軍再編成が進められ、自衛隊基地の米軍機使用が認められたいま、沖縄米軍機は百里基地にもやって来ます。危険で騒音を撒き散らすV22が茨城の空を飛び回るのはごめんです。いま沖縄の問題は茨城に直結しています。

国民は憲法改正を望んでいません

だから国民投票法案はいりません・

活動ごよみ

4・10 平和の会理事会(神立コミセン)
4・24 5・3市民のつどい実行委員会
5・1 つくば地域メーデー
5・3 憲法記念日土浦市民のつどい

5・3 憲法フェスティバル茨城(千波公園)
5・13 土浦平和の会総会(四中地区公民館)
6・17 平和委員会県大会
(グリーンパレス石岡)